

# 観光地の整備について

質問(篠崎 博議員)市指定天然記念物であるザゼン草群生地の保全管理をどのように進めるのか伺います。

答弁(教育次長)北金丸地内にありますザゼン草群生地については、ご存じのとおり昭和四十七年、大田原市の天然記念物として指定し、毎年二月一日から三月三十一日の間に限って一般公開をしております。花が見どころになるころには、県内外から多くの人々が見学に訪れております。そのためザゼン草群生地の

年間の管理状況は、十月下旬から十一月にかけて下草刈りをして、木道の補修整備を行い、十二月下旬には恒例になっております金丸小学校児童によります木道清掃を行っております。現在では群生地のほぼ全面にザゼン草の葉が生い茂っておりますので、株自体の減少はないものと思われま

シーズンオフについては、群生地への立ち入りを禁止しております。自然の状態を保つことや生態系をそのまま維持する



天井が落下した黒羽体育館

# 震災復興費について

質問(深澤賢市議員)震災復興費は現時点でどの位になるのか伺います。

答弁(市長)四月八日現在で市災対策本部が取りまとめた市関係施設の災害復興計画による震災復興費は、詳細な調査が必要な市役所本庁舎を除いて、概算で総額二十一億一千四百七十六万三千元となっておりますが、六月七日現在では、十二億七千五百八十八万五千元と大きく減額になりました。

この減額になった理由としては、主に教育施設の復旧費となります。その中で、復旧費の多くを占めている学校体育館につきましては、震災直後に行った市職員と専門家を交えた被災調査では、改修して使用することは大変難しいとの意見であったため、新築を行うという判断をいたしました。

しかし、その後、文部科学省から依頼を受けた大学の準教授による建物の検査では、建物の

主要構造物が被災しているものの、補強して復旧することが可能である大破との判定になりました。さらに、国の査定結果においては、新築ではなく、改修して使用しなさいという厳しい査定がありましたので、震災復興費が大幅な減額となりました。

その他の主な被災した市有施設としては、小中学校の校舎や社会教育施設、児童福祉施設、温泉施設、公園などでありますが、今後、国の災害検査を待って、早急に施設の修繕工事に着手していきたくと考えております。

ために、できるだけ人間が手を加えないような保全管理に努めております。また、花をつけるザゼン草は全体の二割と言われておりますので、年によつては花の少ない時期があるかもしれませんが、ご理解をいただきます。木道の整備については、平成三年度と平成九年度に大規模な補修をして以来、破損箇所のみを修理していましたが、本年度は全面補修の予定をしておりますので、現地の状況を見ながら早い時期に整備したいと考えております。



金丸小学校の児童たちによる清掃活動